



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 株式会社あさくま 上場取引所 東
 コード番号 7678 URL https://www.asakuma.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)廣田 陽一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)西尾 すみ子 (TEL) 052(800)7781
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,535	11.1	0	—	△27	—	△83	—
2022年3月期第3四半期	4,082	△18.8	△221	—	316	—	203	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △83百万円(—%) 2022年3月期第3四半期 203百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△15.75	—
2022年3月期第3四半期	38.21	38.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,270	2,298	70.3
2022年3月期	3,876	2,412	62.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 2,298百万円 2022年3月期 2,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	6,069	15.6	△9	—	△38	—	△80	—	△15.08	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	5,378,770株	2022年3月期	5,377,070株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	70,629株	2022年3月期	50,549株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	5,314,298株	2022年3月期3Q	5,325,721株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの取組みといたしましては、当社の来店客数が新型コロナウイルス禍直前の2020年3月期と比べ70%台で推移していることから、集客課題を抽出し改善に努めております。

1つ目に、新型コロナウイルス禍において経費削減を行う中で、生産性向上を進めてまいりました。目指す姿としては、店舗人員を少なくしながらも今までよりも良いサービスを提供し、お客様から、「サービスが良くなったね」と言っていたことです。しかし、そのためのトレーニングが追いついておらず、店舗のサービスについてのクレームを多くいただくようになってしまいました。これが来店客数の戻りが悪い原因の1つではないかと考えました。その対策として第3四半期連結累計期間では、①タイムスケジュールのチェックを行うことで来客予測に応じたスタッフの配置を行うこと、②1卓のお客様に対してのサービス試験を行い、あさくまのスタンダードな接客ができるようにトレーニングを行うこと、に取り組みました。また、お客様より特にご指摘いただいておりますサラダバーの補充やお済みの食器類の引き揚げ（バッシング）は、引き続き注力項目として徹底して行っていくことで、「お客様を待たせない」、「不満足を与えない」を目指して取り組んでおりますが、店舗によっては、まだまだトレーニングが足りず不満足のお声をいただいているものの、お褒めのお言葉もいただけるようになってまいりました。商品品質の改善につきましては、毎月エリアマネージャーを集め、ステーキやハンバーグ、コーンスープやカレーの仕込み、調理方法の試験を行い、それに基づいたトレーニングを実施し、調理方法、仕入れ先、食材の見直し等を行いました。またエリア会議にて、店長への調理トレーニングも実施することで、どこの店舗でも同じ品質の商品が提供できるようにしてまいります。こちらにつきましては、まだ品質のブレが出てしまうこともありますので、トレーニングとチェックの数を増やして実施してまいります。クリンリネス（清潔さ）の改善につきましては、特に店頭とサラダバー周辺の清掃に注力し、全店舗実施したことで、お客様からいただいております厳しいご指摘の声も半減いたしました。また、エリアマネージャーに対し、臨店時に上記事項がきちんと出来ているのかのチェックを行うこと、裏付けをとることを徹底して行い、そのトレーニングを随時実施してまいりました。また、全店舗にて「お客様目線での改善案」を、パート・アルバイト（当社グループでは、「ふかかちさん」と呼びます。）も含めた全社員から定期的集め、店舗スタッフが自身で考え改善していく、という取り組みも継続して行い、「お客様へ不満足を与えない店舗づくり」を目指して取り組んでおります。こちらにつきましては、とにかくお客様目線で考え改善するということが根付いてきたと考えております。

2つ目に、新規顧客層の拡大に取り組みました。お客様へ低価格でランチを楽しんでもらいたいと考え、“780円・980円ランチ”の販売を一部店舗にて開始いたしました。お客様にご支持していただいております、見た目にも迫力のある300グラムの“BIGハンバーグ”も、サラダまたはコーンスープとライスがセットで税抜980円にて販売しております。また、ハンバーグの上に具を山盛りに盛り付けた“もりもりハンバーグ”（サラダバー付税抜1,380円）も、第2弾として“味噌きのこもりもりハンバーグ”、“野菜トマトもりもりチキン”の提供を新たに行いました。もりもりシリーズの平日ランチでの合計販売数は当社での販売数ランキングで3位、BIGハンバーグは5位とお客様にご支持いただく商品となりました。低価格・高原価率の商品の販売だけではなく、改めて、「ステーキといえばあさくま」と言われることを目指し、①一時グランドメニューからなくなり、お客様からまた食べたいと言われておりましたテンダーロインステーキを年末のフェア商品として全店舗にて販売、②アメリカでの格付けで最高ランクであるプライムランクの“サーロイン”を期間限定で販売、③毎月の肉の日（29日）では、鉄板からはみ出しそうな1ポンド（約450グラム）の厚切りサーロインステーキを販売するなど、メリハリのある商品・価格での商品政策を行っております。フェア商品につきましては、改めて全てのスタッフがお客様に“商品の魅力をきちんと伝えられるようになる”をゴールに、セールトレーニングを継続して行っております。また、サラダバーに関しましては、提供するアイテム数・内容をルール化し、チェック指導を行うこととし、アイテム数を15～20品程度だったものを25品以上にすることで、どこの店舗でもサラダバーを楽しんでもらえるような店づくりを行いました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高が4,535,236千円（前年同四半期比11.1%増）、営業利益が160千円（前年同四半期は営業損失221,068千円）、経常損失が27,036千円（前年同四半期は経常利益316,080千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失が83,684千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益203,501千円）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間末現在における当社の店舗数は、F C店が1店舗減少したため、直営店61店舗にF C店4店舗を加えて65店舗、株式会社あさくまサクセッションの直営店は10店舗（1店舗休業中）で、当社グループの総店舗数は75店舗（F C店4店舗を含む）となっております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて508,673千円減少し、2,141,812千円となりました。主な要因は現金及び預金で412,821千円、未収入金で184,561千円それぞれ減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて97,531千円減少し、1,128,658千円となりました。主な要因は有形固定資産で41,369千円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて606,205千円減少し、3,270,470千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて415,263千円減少し、773,159千円となりました。主な要因は買掛金146,392千円の増加に加えて、短期借入金で250,000千円、1年内返済予定の長期借入金で72,620千円、未払法人税等で131,169千円それぞれ減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて77,050千円減少し、198,830千円となりました。主な要因は長期借入金で77,050千円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて492,313千円減少し、971,989千円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて113,891千円減少し、2,298,480千円となりました。主な要因は利益剰余金で83,684千円減少したこと、自己株式で30,722千円増加したことによります。

この結果、自己資本比率は70.3%（前連結会計年度末は62.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想については、2022年11月14日の「営業外費用の計上、及び2023年3月期第2四半期業績の前期実績値との差異、並びに2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、今後の進捗等により、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,997,093	1,584,271
売掛金	258,935	344,211
原材料及び貯蔵品	26,800	49,082
未収入金	303,824	119,262
その他	63,831	44,982
流動資産合計	2,650,486	2,141,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	369,693	413,812
その他(純額)	263,508	178,019
有形固定資産合計	633,202	591,832
無形固定資産		
その他	31,888	29,675
無形固定資産合計	31,888	29,675
投資その他の資産		
破産更生債権等	812,892	812,892
差入保証金	475,764	465,066
その他	90,335	42,083
貸倒引当金	△817,892	△812,892
投資その他の資産合計	561,099	507,150
固定資産合計	1,226,189	1,128,658
資産合計	3,876,675	3,270,470

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	286,145	432,537
短期借入金	250,000	—
1年内返済予定の長期借入金	83,880	11,260
未払法人税等	153,305	22,135
賞与引当金	12,885	7,911
株主優待引当金	17,804	7,429
その他	384,403	291,886
流動負債合計	1,188,423	773,159
固定負債		
長期借入金	173,950	96,900
資産除去債務	78,230	78,230
その他	23,700	23,700
固定負債合計	275,880	198,830
負債合計	1,464,303	971,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,124	90,381
資本剰余金	1,710,362	1,710,620
利益剰余金	687,592	603,908
自己株式	△75,706	△106,429
株主資本合計	2,412,372	2,298,480
純資産合計	2,412,372	2,298,480
負債純資産合計	3,876,675	3,270,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	4,082,729	4,535,236
売上原価	1,766,075	1,857,271
売上総利益	2,316,653	2,677,964
販売費及び一般管理費	2,537,722	2,677,804
営業利益又は営業損失(△)	△221,068	160
営業外収益		
受取利息及び配当金	16	14
助成金収入	525,770	2,579
その他	17,122	11,396
営業外収益合計	542,909	13,989
営業外費用		
支払利息	4,046	2,415
助成金減額損	—	37,942
その他	1,713	827
営業外費用合計	5,759	41,186
経常利益又は経常損失(△)	316,080	△27,036
特別利益		
圧縮未決算特別勘定戻入額	—	13,499
固定資産売却益	8,309	—
補助金収入	15,077	—
保険差益	83,776	—
資産除去債務戻入益	12,693	—
その他	2,256	—
特別利益合計	122,112	13,499
特別損失		
店舗休止損失	8,064	—
店舗閉鎖損失	9,713	9,900
訴訟損失引当金繰入額	38,421	—
圧縮未決算特別勘定繰入額	83,776	—
その他	4,449	2,800
特別損失合計	144,424	12,700
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	293,768	△26,236
法人税、住民税及び事業税	90,267	22,446
法人税等調整額	—	35,001
法人税等合計	90,267	57,447
四半期純利益又は四半期純損失(△)	203,501	△83,684
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	203,501	△83,684

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	203,501	△83,684
四半期包括利益	203,501	△83,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	203,501	△83,684

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年7月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式20,000株の取得を行いました。この結果、第3四半期連結累計期間において自己株式が30,600千円増加したこと等により、第3四半期連結会計期間末において自己株式が106,429千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。